

大江戸線延伸ニュース 第8号



平成22年9月15日発行

大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸推進課

大江戸線の導入空間となる補助230号線全線で都市計画事業の認可がされました

大江戸線の延伸計画について

国は、東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本的な計画として、運輸大臣（現国土交通大臣）の諮問機関である運輸政策審議会から平成12年1月に答申を受けました。

この答申で、大江戸線の光が丘から大泉学園町までの延伸は、新宿や都心部へのアクセスの速達性向上の効果が期待されるが、導入空間である都市計画道路の整備に時間を要すると見込まれ、速やかな整備着手が困難であることから、「少なくとも目標年次（平成27年）までに整備着手することが適当である路線（A2）」と位置付けられています。

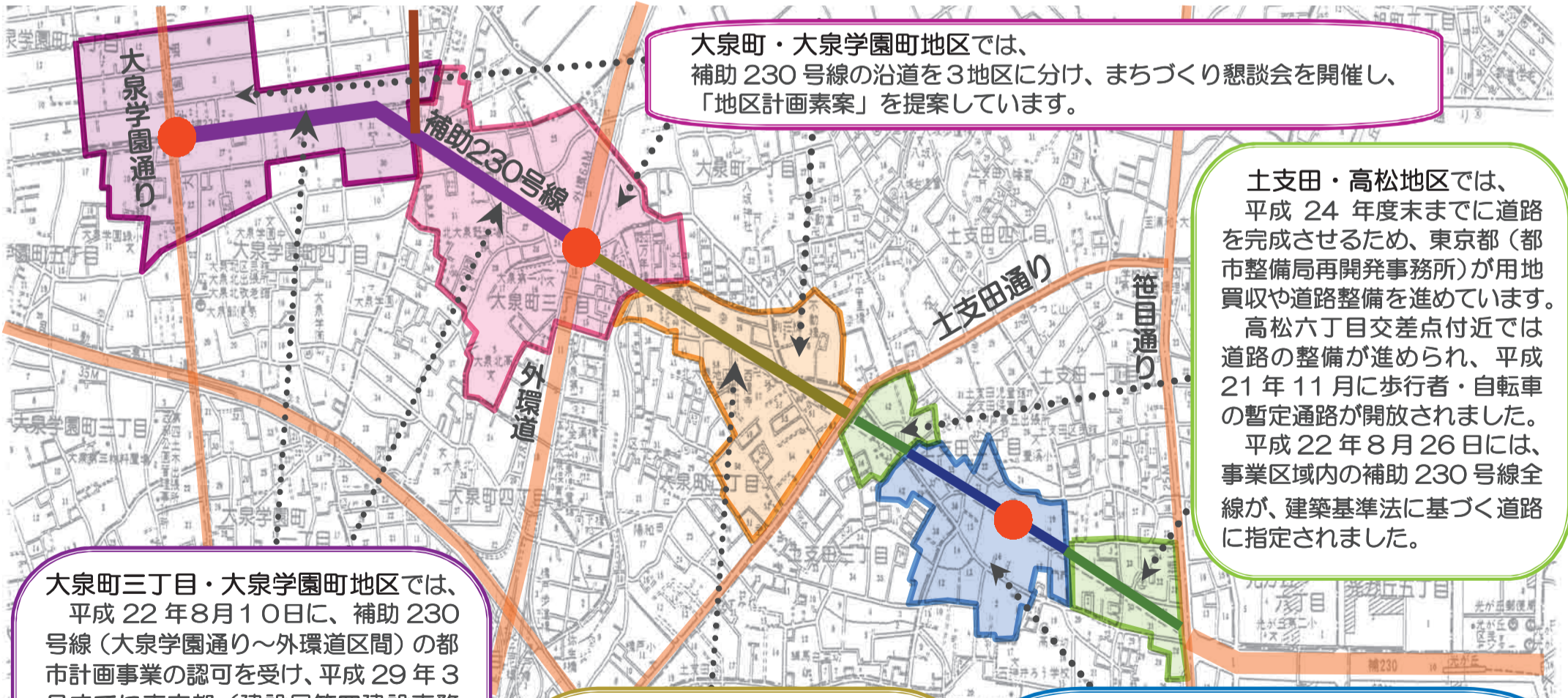
また、大泉学園町以西の武蔵野線方面への延伸については、鉄道不便地域の解消の効果が期待されるが、現段階では、輸送需要が十分でなく、「今後の沿道開発による輸送需要の動向等を見つつ整備を検討する必要がある路線（B）」と位置付けられています。

そのため、平成16年3月に東京都と特別区で策定をした「区部における都市計画道路の整備方針」において、補助230号線の大泉学園通りから笹目通りの区間について、地域のまちづくりの動きにあわせて道路を整備することとし、平成22年8月10日の都市計画事業の認可により、導入空間である都市計画道路の全線について事業化され、延伸に向けた環境が整うこととなりました。



出典：練馬区都市交通マスタープラン

大江戸線延伸の導入空間の整備と沿道まちづくりについて



大泉町・大泉学園町地区では、補助230号線の沿道を3地区に分け、まちづくり懇談会を開催し、「地区計画素案」を提案しています。

土支田・高松地区では、平成24年度末までに道路を完成させるため、東京都（都市整備局再開発事務所）が用地買収や道路整備を進めています。高松六丁目交差点付近では道路の整備が進められ、平成21年11月に歩行者・自転車の暫定通路が開放されました。平成22年8月26日には、事業区域内の補助230号線全線が、建築基準法に基づく道路に指定されました。

大泉町三丁目・大泉学園町地区では、平成22年8月10日に、補助230号線（大泉学園通り～外環道区間）の都市計画事業の認可を受け、平成29年3月までに東京都（建設局第四建設事務所）が道路の整備を行うこととなりました。

今後、この区間で補助230号線に係る土地や建物を所有等される皆様へは、事業の施行者である第四建設事務所より、用地取得の手順、補償項目などについての説明会が開かれ、事業が進められます。

大泉町二丁目地区では、平成21年7月21日に、補助230号線（土支田通り～外環道区間）の都市計画事業の認可を受け、平成28年3月までに道路を完成させるため、東京都（建設局第四建設事務所）による道路用地の買収が進められています。

土支田中央地区では、練馬区が土地区画整理事業により補助230号線の整備を進めています。平成22年3月から、地域の方々の利便性を考慮して、補助230号線の一部で歩行者・自転車の暫定通路が設置され、利用されています。平成22年5月19日には、事業区域内の補助230号線が、建築基準法に基づく道路に指定されました。